

三三〇七番

あらたまの年としの緒長ながく 照てる月つきの 飽あかざる君きみ  
や 明日あすわか別わかれなむ

三三〇八番

久ひさにあらむ 君きみを思おもふに ひさかたの 清きよき月つき夜よ  
も 闇やみの夜よに見みゆ

三三〇九番

春かすが日がなる 三み笠かさの山やまに 居ゐる雲くもを 出いで見みること  
に 君きみをしおも思おもふ

三三一〇番

あしひきの 片かた山やま雉きざし 立たち行ゆかむ 君きみに後おくれて  
現うつしけめやも